Asset DB

CONFERE

Ő

0

ELEC

R

WEETING

BREAK

Report Editor ユーザーマニュアル

EXT

CRE

De

C

STOR

STOR

© NewField IT Ltd. 2015



Asset DB

1	レポートエディターとは	
2	1 けじめに	
-	1	
2.1	既存の環境を理解、把握する1	
2.2	システムレポートを実行する1	
3	新しいレポートの作成	
	2	
4	既存のレポートの編集	
F		
Э		
51	5 新しい様式を作成する 5	
J.1	511 フォントの色とテキストの色を設定する	6
	5.1.2 チャートの色を設定する	7
	5.1.3 ヘッダーとフッターを設定する	8
5.2	既存のスタイルを編集する9	
5.3	スタイルをエクスポート/インポートする10	
6	プロジェクトデータソースの設定	
	10	
6.1	カスタムフィールドを作成する13	
	6.1.1 複数のフィールドを追加する	14
	6.1.2 数値を入力してフィールド数を乗じる	14
	6.1.3 条件に基づくテキストを表示する	15
6.2	既定ソート順の設定をする16	
/	レホートの内谷官理 17	
71	17 レポートヤクションを作成する 17	
/.1	711 サブヤクションを作成する	19
7.2	改ページを挿入する	10
7.3	パラグラフを作成/編集する	
	7.3.1 プロジェクトアセットのパラグラフを作成する	21
	7.3.2 仮想アセットのパラグラフを作成する	23
7.4	レポートテーブルを作成/編集する23	
	7.4.1 標準テーブルを編集する	23
7.5	プロジェクトアセットテーブルを作成する	
	7.5.1 標準ブロシェクトアセットケーブルにパラメータを追加する	25
	1.5.2 計昇	26
	7.5.3 ハーセンフーン 7.6 世家	2/
	7.5.4 比学 7.5.6 ガイナミックまた佐武士で	2/
	1.3.3 クイノミツク衣をTF成りの	28

Asset DB v4.4

- i -

Report Editor ユーザーマニュアル

	7.5.6	ダイナミック表データソースを編集する	29
	7.5.7	クロス・タブテーブルの作成	30
	7.5.8	計算式コラム	32
	7.5.9	カウント・コラム	32
7.6	仮想アー	セットテーブルを作成する	
7.7	レポー	トアセットチャートの作成/編集	
	7.7.1	パイチャート(円グラフ)を作成する	33
	7.7.2	連続パイチャート(円グラフ)を編集する	35
	7.7.3	バー(棒グラフ)を編集する	37
	7.7.4	計算	38
	7.7.5	数式	39
7.8	仮想アー	セットチャートの作成39	
7.9	レポー	トの順序を変更する40	
8	レポー	トデザインのエクスポート/インポート	

41

Asset DB

1 レポートエディターとは

Asset DB レポートエディターは、Asset DB アナリストやアーキテクトと直接作 業を行うために開発されたソフトウェアです。レポートエディターのモジュ ールでは、標準 Asset DB システムレポート(プリントアセスメントサマリー、 移動・変更、将来の状態に関する提案を含む)を、データフィルタ、コンテ ンツ、ビジュアルスタイルなど、ユーザー特定のニーズに応じて、生成、編 集することができます。

また、テキスト、表、チャートなど、プロジェクトデータの全要素を表示した、新しいレポートを作成することもできます。

2 はじめに

Asset DB レポートエディターを実行してレポートを作成または編集するには、 まず既存の印刷環境に関する Asset DB のプロジェクトが必要です。作業を始 める前に、「Asset DB オーディター」と「Asset DB アナリスト」のマニュアル を読み、内容と機能を十分に理解して下さい。

2.1 既存の環境を理解、把握する

レポートを実行または修正するにあたり、現在のフリート(機器のすべて) に関するデータと、可能な範囲でソリューションデザインに関するデータを 包括的に把握する必要があります。

システムレポートでは、平均月間ボリューム、TCO 計算の実行、現状のグリ ーン分析の実行、製品コストデータの追加、将来の状況のグリーン分析の実 行を含めた理解が必要です。

作成または修正するレポートでは、収集したデータが表示するデータを反映していること。

これらのプロセスについては、「Asset DB オーディター」、「アナリスト」、 「アーキテクト」の各マニュアルに詳細が記載されています。本マニュアル では、ユーザーがその情報を完全に理解したものとして、説明を進めます。

2.2 システムレポートを実行する

印刷アセスメントサマリーレポート、移動・変更レポート、将来の状態提案 レポートなど、既存のレポートの実行プロセスについては、「Asset DB アナ

リスト」マニュアルに説明があります。本マニュアルでは、そのプロセスを 理解したものとして説明を進めます。

3 新しいレポートの作成

新しいレポートを作成するには、 [レポートの管理] ウィンドウを開きます。 [レポート] → [デザイン] → [管理する] の順に選択し、ウィンドウから [新しい] ボタンをクリックすると、新しいレポートのウィンドウが表示さ れます(図1)。

[新しいレポート]ウィンドウでは、レポート名やタイトルの決定、ドロッ プダウンからレポートスタイルの選択を行います。レポート名は、リストか らレポートを選択するためのもので、この名前は最終レポートには表示され まsせん。レポートタイトルは、レポートの各ページのヘッダーに表示され るものです。レポートのタイトルとレポート名は、異なる場合があります。

・・・・ 新しい レポート		22
プロパティ プロジェクト データ ソース	内容のセクション	
名前		
新しいレポート		
Japanese (Japan)		
レポートタイトル		
新しい レポート		
assetDB (システム)		
レポート内容		
除 挿入する 追加		保存 編集
		OK キャンセル

図 1. 新しいレポート] ウィンドウ

次に、レポート様式を選択します。既定では [asset DB (システム)] に設定 されていますが、ドロップダウンを使って希望のスタイルに変更することが 可能です。スタイルの作成と編集方法については、セクション5を参照のこ と。

最後に、プロジェクトデータソースを設定します。これにより、データのフ ィルタやソートの既定設定ができるようになります。 [プロジェクトデータ ソース] タブを選択し、セクション6で説明する方法で設定を行います。

各項目の設定を終了したら、[OK] ボタンをクリックしてレポートを保存します。これでレポートにパラグラフ、テーブル、画像、表を配置する準備が整いました。これらのオブジェクトの作成方法については、セクション7を参照のこと。

4 既存のレポートの編集

すでに設定済みのシステムレポートの生成だけではなく、パラグラフやテー ブルの追加、追加条件の設定、レポートスタイルの調整など、修正を加える ことも可能です。

プリントアセスメントサマリーレポートや移動・変更レポート、フューチャ ー・ステイト提案レポートなどのシステムレポートを編集するには、まず該 当するレポートをコピーします。

レポートは [レポートの管理] ウィンドウにコピーされます。レポートを開 くには [レポート] → [デザイン] → [管理する] を選択します。

[レポートの管理] ウィンドウが開き、保存されているレポートがリスト表示されます。既存のレポートをコピーするには、レポートを選択し[コピー] ボタンをクリックします(図 2)。

レポートデザイン				
言語				
Japanese (Japan) 🔻				
レポート				
アセスメント要約を印刷(システム)				
フューチャー・ステート提案(システム) 移動および変更(システム)				
機器の処理状態(システム)				
削除 編集 コピー 新しい				
閉じる				

図2. 既存のレポートをコピーする



[コピー]をクリックすると、レポートの[コピー]ウィンドウが開きます。 ここでは、レポート名(レポートリスト上の表示名)とレポートのタイトル (レポートの各ページに表示)を変更することができます。

コピー - 移動および変更	
ヽ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚ヽ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	内容のセクション
2日則 移動わた75次面	
179///JSURC 音語	
Jananese (Janan)	
しボートタイトル	
更約を変更する。	1
レポート様式	
assetDB (システム) マ	
▶ 廃棄されたアヤット	
マガイナシック表型法書任デルロケットタイプ	
マ フロアプラン 廃棄されたアヤット	
✓ Bedeployed assets	
マガイナミック表型造者圧デルアセットタイプ	
▼ 707752;Redeployed assets	
▶ 元の位置に設置されたアセット	
▲ ダイナミック表型活者圧デルアセットタイプ	
▶ フロアプラン・元の位置に設置されたアセット	
ビ 新しい アセット	
✓ ダイナミック表型造者圧デルIA3I両面大3	
マロアプラン新しい アセット	
▼ 要約を変更する。	
■ コロアプラン 更約を変更する	
	OK +++>+

図3. レポートをコピーする

また [コピー] ウィンドウでは、オリジナルのレポートにあるセクションを 削除してから、レポートをコピーすることができます。プロジェクトに TCO 計算やグリーン計算が含まれない場合、これらのセクションをプリントアセ スメントサマリーレポートから削除することができます。

セクションを削除するには、画面左下のリストで削除したいセクションから チェックを外します(図3)。セクションをハイライトすると、メインパネ

ルでプレビュー表示されます。削除するセクションを決定する時に、便利な 機能です。

セクションの削除は、この後の段階でも可能です。詳細については、セクシ ョン7を参照のこと。

最後に [スタイル] ドロップダウンから、レポートのスタイル(色、フォント、ロゴ)を選択します。データソースの設定については、セクション 6 を 参照のこと。

これらの設定が終了したら、 [OK] ボタンをクリックして、レポートのコピ ーを作成します。これで、レポート内のセクションやオブジェクトを編集す る準備が整いました。詳細については、セクション7を参照のこと。

5 レポートスタイル

レポートに組み込むデータやテキストの設定だけではなく、レポートスタイ ルのデザインをすることができます。フォントや色、画像、印刷方向などは、 すべてカスタマイズが可能です。複数のスタイルを作成し、ユーザ同士で共 有することもできます。

5.1 新しいスタイルを作成する

新しいレポートスタイルを作成するには、 [レポート] → [スタイル] → [管理する] をクリックします。 [レポートスタイル] ウィンドウから [新しい] を選択すると、 [スタイルを編集する] ウィンドウが開きます(図 4)。



スタイルを編集する	the state building the state of a set	×
	Title Title	
	1 4 1 5 1 1 1 2 1 3 1 5 5 5 6	
	Image: Control of the second	ОК ++уди

図4. [スタイルを編集する] ウィンドウ

まず、スタイル名とページ数、ページ方向を設定します。設定は[一般的な] タブから行います。

スタイル名の設定により、レポートに特定のスタイルを適用する時に、スタ イルの識別が簡単にできるようになります。

ページサイズと印刷方向は、レポート内全てのページに適用されます。レポ ートは、PDF、Word、PowerPoint などさまざまな形式でエクスポートできる ため、将来エクスポートする形式を考えた上で、これらの要素を設定するこ とが大切です。例えば、PDF や Word の場合だと縦方向、PowerPoint の場合だ と横方向に設定するのが最適です。

5.1.1 フォントの色とテキストの色を設定する

次に、フォントの色とテキストの色を決定します。まず、パラグラフまたは 本文のフォントを設定します。このプロセスによって、レポート全体の既定 フォントが決定します。

まず、 [スタイルを編集する] ウィンドウ左上のパネルから [スタイル] を 選択します。下のパネルのオプションを使い、パラグラフのフォント、サイ

ズ、スタイル、色を設定します。変更した内容は、右側のパネルにそのまま 表示されます。

個々の見出しやタイトルスタイルも、同様の方法で変更します。各タイトル グループを拡張し、フォントスタイルを設定します(図5)。

図 5. 見出し/タイトルのフォントを変更する

5.1.2 チャートの色を設定する

フォントと色の設定が終了したら、次にレポートに表示するチャートの色を 設定します。

まず、画面左上の[チャートシリーズ]タブを選択します。現時点で[スタ イル]で使用されている色と設定後に使用される順序が表示されます。

現在使用している色を編集するには、関連するアイテムをクリックします。 そこで、色番号を直接入力、またはドロップダウンメニューで定義済みの色 をダブルクリックして選択します(図 6)。



ſ	… スタイルを編集する	state in the			
Ī	一般的な スタイル・ ページ フッター	ページ へっぱー チャードシリーズ	准法の色っ、		•
Π	63, 22, 217 180, 22, 217	°	進伝のセュー		
	217, 22, 136		入月9		
	217, 139, 22		00000		
	60, 217, 22 22, 217, 101				
II.	22, 215, 217				
	122, 22, 217	•	□□□ 1		
	217, 22,		0002		
		<		変更がそのまま	
	22, 217		5	表示	
	22, 156	###	0000000 1 ^L		
			000000 2		
			3		
			0000004		
			000000 5		
			0		
		表のサンプ	プルが自		
		動表			
				100 156 217 (10) 22 210 120 120 120 120 120 120 120 120 1	
				1017 00 20 (10) 1017 20 27 (10) 1017 101 101 1017 101	
				122, 22, 217 (11)	
		肖邶余			
					-
				OK ++>\U	

図 6. チャートの色を変更する

色を削除するには、削除したい色を選択し、[削除]ボタンをクリックしま す(図 6)。

色の使用順序を編集するには、各アイテムを選択し、リストの右にある上下 のスクロールボタンを使い、順序を変更します。

5.1.3 ヘッダーとフッターを設定する

最後に、ヘッダーとフッターの編集を行います。ヘッダーの色は[スタイル] タブの[タイトル]の色を変更して設定します(セクション 5.1.1)。

ヘッダーの位置の編集と表示画像の修正は、 [ページヘッダー] タブから行 います。ヘッダーに表示されるレポートタイトルは、デフォルトで [トッ プ・中間・下位] に設定されています。バナーの上か下に移動するには、 [タイトル配置] ドロップダウンメニューを使います。

タイトル以外にも、ヘッダーに表示する画像の変更もできます(図7)。



… スタイルを編集する			
ペー	ジフッター <u>チャード・</u> ルーズ カケースタイル ページへッダー		
까지 タイトル			
Align	中間 ▼		
<u>イメージ</u>			
Display			
Image	イメージを選択する		
Width	55		
Height	55		
Position	左 ▼		
Align	下位 ▼		

図 7. ページヘッダーを編集する

画像設定のオプション:

表示: ボックスをチェックして、画像の表示を決定します。

画像: [画像の選択] ボタンをクリックして、希望の画像を検索、変更 します。

幅・高さ: ヘッダーに合わせて画像のサイズを調整します。

位置: 画像は、ヘッダーの左右いずれにも配置することが可能です。 配置: テキスト同様、画像もバナーの上下、中心のいずれにも配置す ることができます。

このオプションでは [ページフッター] タブをクリックして、フッターに挿 入する画像も同様に設定することができます。ページ数の表示位置は、デフ ォルト設定が [中心] になっていますが、このタブからバナーの上か下に移 動することができます。

スタイルの変更を終了したら、画面右下の [OK] ボタンをクリックして、変 更を保存します。

5.2 既存のスタイルを編集する

既存のレポートスタイルを編集するには、まず [レポート] → [スタイル] → [管理する] で、 [レポートスタイル] ウィンドウを開きます。ウィンド ウには現在作成されているスタイルが表示されます。スタイルを削除するに は、希望のアイテムを選択し、 [削除] ボタンをクリックします。

既存のスタイルの編集には、アイテムを選択し[編集]ボタンをクリックします。編集作業は、セクション 5.1.1、5.1.2、5.1.3 と同様のプロセスで行います。

5.3 スタイルをエクスポート/インポートする

一旦作成されたスタイルは、将来 Asset DB のレポートに適用することができ るだけではなく、他の Asset DB にエクスポート、インポートすることもでき ます。

スタイルをエクスポートするには、 [メニュー] バーから [レポート] → [スタイル] → [エクスポート] を選択します。表示されたスタイルリスト からエクスポートするスタイルを選択し、 [エクスポート] ボタンをクリッ クします。ファイルは、希望のエクスポート先に.rst ファイルとして保存され ます。

スタイルをインポートするには、 [レポート] → [スタイル] → [インポート] で、保存した.rst ファイルを選択します。スタイルは、システム内全ての レポートに適用することができます。

6 プロジェクトデータソースの設定

コピーしたレポートは、[レポート]ウィンドウに表示されます。新しいレ ポートに変更を加えるには、リストから希望のレポートを選択して[編集] ボタンをクリックします(図8)。

━ レポート	— X	
レボートデザイン レポートを編集および作成する	٢	
言語		
Japanese (Japan)	-	
レポート アセスメント要約を印刷(システム) フューチャー・ステート提案(システム) 移動および変更(システム) 機器の処理状態(システム) アセスメント要約を印刷		
削除 編集 コピー	新い	
	閉じる	

図8. コピーしたレポートを編集する

レポートの [レポートデザイン/スタイル] ウィンドウが開きます。ここでレ ポート名の変更はできませんが、タイトルは左上の [一般的] の中で変更す ることができます。

まず、レポート内容となるデータを決定します。[編集]ウィンドウの[プ ロジェクトデータソース]タブで設定を行います(図 9)。

編集する - アセスメント要約を印刷		x
プロパティ プロジェクトデータ ソース カスタマイズされたフィールド	内容のセクション	
AFF 通来 追加 ソート手順 フィールド 方向 スイールド 方向 場所 上昇		
RDE RDE RDE RDE RDE APP APP		
	OK +v	セル

図 9. [プロジェクトデータソース] タブ

Asset DB では、プロジェクトの [アイコンのカスタマイズ] にあるフィール ドや機器タイプなどの、システム設定フィールドに基づいたプロジェクトデ ータのフィルタ設定をすることができます。

フィルタ条件を設定するには、 [条件] パネルを使います(図 9)。プリン トアセスメントサマリーレポートの場合、既定として設定されているのは、 範囲にあるプリンタ、MFD、スキャナ、ファックスです。既定設定の変更ま たは、他のレポートに条件を設定する場合は、 [条件] パネルから [編集] ボタンをクリックします。

[編集条件]ウィンドウが開いたら(図 10)、データに独自の条件を設定します。ここでは独自のサブセットしか表示されません。例えば、範囲内のプリンタのみを表示する場合です。設定は次の手順で行います。

条件を追加するには、 [条件の追加] ボタン(♣)をクリックし、条件の詳細 を設定します(図 10)。 [パスの追加] (♣)ボタンを使うと、追加した条件 ごとにデータフィールドに複数のフィルタを設定することができます。



図 10. [条件の編集] ウィンドウ

上記の方法で条件を作成するには、データフィールドからアセットタイプを 選択し、[プリンタ]にチェックします(図 10)。それから、データフィー ルドとして[範囲外]を選択し、追加条件を作成します。フィールドがチェ ックされていない(チェックボックスが空白である)ことを確認して下さい。

データのフィルタ条件の設定を終了したら、[OK] ボタンをクリックして設定を保存します。新しい設定は、[条件] パネルにアップデートされます。

6.1 カスタムフィールドを作成する

プロジェクトの [アイコンのカスタマイズ] にある標準フィールドでは、デ ータのフィルタの作成のほかに、標準フィールドに基づいたカスタムフィー ルドの作成ができます。例えば、TCO コストと電力コストの両方を含む全体 コストに基づいたフィルタを適用する時などです。その際には、両方のフィ ールドを追加したカスタムフィールドを作成します。

カスタムフィールドを作成するには、 [カスタムフィールド] パネルにある [追加] ボタンをクリックします(図 11)。

•	*** 編集する - アセスメント要約を印刷
	プロパティ プロジェクト データ ソース カスタマイズされたフィールド
	削除

図 11. カスタムフィールドの作成

[フィールドウィザード]ウィンドウが開いたら、新しいのカスタムフィールドの作成を開始します。最初のスクリーンにはフィールドのタイプに関して、次の3種類のオプションが表示されます。

6.1.1 複数のフィールドを追加する

このオプションでは、上記の例の通り、複数のフィールドの合計に基づくフ ィルタを作成する時に使います。このフィールドを作成するには、関連する ラジオボタンを選択し[次へ]をクリックします。

次に [表示名] ボックスで、新しいカスタムフィールドに名前をつけます (図 12)。この名前は [条件] ウィンドウのリストに表示されます。

次に追加したいフィールドを選択します。[追加]ボタンをクリックして、 現在のプロジェクトの[アイコンのカスタマイズ]をスクロールし、関連す るフィールドを選択します。追加したいフィールドを全て選択すると、[フ ィールド]セクションに表示されます(図 12)。

**** フィールド・ウィザード - 追加
表示名
overall cost
フィールド
月間消費電力(稼働時) 年間雷気料金
育山影余 这自力回
戻る 次へ 完了 キャンセル

図 12. フィールドウィザード-複数の既存フィールドを追加してフィールドを作成 する

フィールドの作成を終了するには、 [終了] ボタンをクリックします。 [レ ポートの編集] ウィンドウの左上にある [カスタマイズされたフィールド] パネルに、新しいフィールドが表示されます。

6.1.2 数値を入力してフィールド数を乗じる

このオプションでは、フィルタを適用する前に数値フィールドを積算、増加 します。例えば、月間値を 12 倍して年間値を算出する時に使用します。この タイプのフィールドを作成するには、関連するラジオボタンを選択し[次へ] をクリックします。

次に、 [表示名] ボックスに新しいカスタマイズされたフィールドの表示名 を入力し、掛け算するフィールドをドロップダウンメニューから選択します。



何倍にするかの数値を [数値] に入力します。

•••• フィールド・ウィザード - 掛け算					
表示名					
Annual standard mono					
フィールド					
月間両面印刷機 🛛 🗸 🛄					
 ₽					
12					
·					
展る 次へ 完了 キャンセル					

図 13. フィールドウィザードー既存のフィールドを乗算してフィールドを作成する

フィールドの作成を終了するには、 [完了] ボタンをクリックします。 [レ ポートの編集] ウィンドウの左上にある [カスタマイズされたフィールド] パネルに新しいフィールドが表示されます。

6.1.3 条件に基づくテキストを表示する

このオプションでは、接続タイプやアセットタイプなど、複数のオプション フィールドを圧縮します。この機能を使い、固定の条件に基づく新しいのカ テゴリオプションを作成することができます。その結果、各機器は新しいカ テゴリにそれぞれ設置されます。

このフィールドを作成するには、関連するラジオボタンから[次へ]をクリ ックします。

同様に [表示名] ボックスで、新しくカスタマイズされたフィールドに名前 をつけ、デフォルトカテゴリの定義を設定します。これは、選択したフィー ルドに現時点で値のない機器のカテゴリとなります。

最後に複数の新しいカテゴリを作成します。例えば、接続タイプフィールド を「ネットワーク」と「ネットワーク外」に分割する場合などです。カテゴ リを作成するには、[カテゴリ]の[カテゴリ]をダブルクリックし、最初 のカテゴリ名を入力します。新しいカテゴリを決定するには、[条件]の見 出しと同じ列をダブルクリックします。次に[条件の編集]ウィンドウが開 きます。条件の編集については、セクション6と図 10 を参照のこと。同様の プロセスで、必要なカテゴリの作成を継続します。



<u>・・・・</u> フィールド・ウィザート	ドーカテゴリ	×				
表示名						
ネットワーク接続?		j				
デフォルトのカテゴリ						
ネットワークされていませ	ネットワークされていません。?					
カテゴリー						
1万ゴリ (象	条件					
ネットワーク接続 (打	接続タイプは等しいネットワーク)					
ネットワークされてい… (接続タイプ 等しくありません ネットワーク)						
	肖山际余					
	戻る 次へ 完了 キャンセル]				

図 14. フィールドウィザードー条件に基づくテキストを表示してフィールドを作成 する

フィールドの作成を終了するには、[完了]ボタンをクリックします。[レ ポートの編集]ウィンドウの左上にある [カスタマイズされたフィールド] パネルに新しいフィールドが表示されます。

作成したカスタムフィールドは、レポートの条件設定に適用することができ ます(セクション 6)。フィールドは[アイコンのカスタマイズ]の[カス タマイズ] セクションに表示されます。

6.2 既定ソート順の設定をする

[プロジェクトデータソース]タブで最後に定義するのが、テーブルやチャ ートのソート順のデフォルトです。

この機能では、特定のフィールドにあるリストにおけるアイテムの表示順序 を決定します。テーブルやチャートで特定しない限り、全てのフィールドは デフォルトで上昇に設定されています。

ソート手順		
フィールド	方向	
場所	▶廿 ▲	1
	下降	
	上昇	
	肖リ	涂

図 15. 既定ソート順の設定をする

ソート順を設定するには、[フィールド]に表示された列をダブルクリック します。そこでプロジェクトの[アイコンのカスタマイズ]からフィールド を選択します。フィールドを選択したら、[方向] コラムのドロップダウン メニューの下降か上昇のいずれかにデフォルトを設定します(図 15)。

これらのソート順は、選択したレポート内全てのテーブルやチャートにデフ オルトとして適用されます。特定のアイテムに、別のソート順を設定するこ とも可能です。ソート順を削除するには、テーブルから関連する行を選択し て、[削除] ボタンをクリックします。

[プロジェクトデータソース]の設定を終了したら、[レポートの編集]ウィンドウ右下の[OK]ボタンをクリックして内容を保存します。

7 レポートの内容管理

新しいレポートを作成または既存のレポートをコピーして、プロジェクトデ ータソースの設定を終了したら、次にレポート本文の作成に入ります。本文 には、セクションとサブセクションがあり、サブセクションにはパラグラフ、 画像、テーブル、チャートが含まれます。

7.1 レポートセクションを作成する

レポートの内容管理では、まずセクションの作成を行います。レポート内に セクションを作成することで、タイトルの識別やナビゲーションバーを作成 する時などに、レポートやマイクロソフト Word などのプログラム内での移動 が容易になります。

レポートに新しいセクションを追加するには、ウィンドウの下から[追加] → [セクション] を選択します(図 16)。 Asset DB



図 16. レポートにセクションを追加する

表示されたポップアップウィンドウで、セクション名を決定します。セクシ ョン名を決定したら [OK] ボタンをクリックし、セクションの作成に入りま す。セクションは [レポートの編集] の [レポートの内容] に表示されます。

最初のセクションを入れたら、次のセクションは、**[挿入する]**→[セクション] で追加します。この機能では、サブセクションではなく、新しいセクションとして作成されます(詳しくは、セクション 7.1.1 を参照)。こうして 挿入されたセクションは [レポートの内容] リスト上部に表示されます。

レポート内でセクションを移動するには、リストから移動したいセクション を選択し、右側にある上下の矢印で移動します。詳細はセクション7.9を参照 のこと。

7.1.1 サブセクションを作成する

セクションの追加を終了したら、同じセクション内にサブセクションを追加 することができます。セクションを選択して[追加]→[セクション]を選 択し(図17)、サブセクション名を決定します。

編集する - アセスメント要約を印刷		x
プロパティ プロジェクト データ ソース	内容のセクション	
名前		
アセスメント要約を印刷		
100		
Japanese (Japan)		
レポートタイトル		
アセスメント・レポートを印刷		
assetDB (システム) 🔹		
レポート内容		
タイナミック表:製造者にテルドシリアル No.Iカラー		
ダイナミック表製造者にデルドシリアル No.Iトーク		
ダイナミック表:製造者モデルドシリアル No.トーク		
バラクラフ ダイナミック表:製造者Iモデルドクリアル No.Jカラ〜		
パラグラフ 印刷地界全体を目みともうーページの運用券(
チャート図5.モノクロノカラーごとのコスト要約		
以下のチャートと見られるとおり、日本町コストは2 チャート図6.部門ごとのコスト要約		
クロス・タブ・トータル年間ランニングコスト		
環境要約		
環境要約 印刷環境の002排出量の会計は年間24gで		
パラグラフ		
CO2排出 全ての機器に分散されている年間CO2排出量		
チャード図7. ソースごとのCO2排出 全体の年間CO2排出量は以下のチャードに示		
チャート図8. 機器タイプによるCO2排出		
機器のダイブの年間環境テーダは以下の表に3 パラグラフ		
クロス・タブ:CO2 セクション た木村		
以下のテーブル テーブル けるト		
ハラジラン ダイナミック表製 イメージ p.1年間		
フロアブランフロアブ 改ページ		
<u>100 x 20101</u> ブロジェクト アセット ▶		
削除 挿入する 追加	保存 編集	
	ОК <i>\$</i> ту	セル

図 17. サブセクションを作成する

作成したサブセクションは、 [レポートの内容] リスト内でセクションの右 側にオフセット表示されます。

同レベルで新しいサブセクションを追加するには、同じセクションを選択し、 上記のステップを繰り返します。レベルを追加するには、サブセクションを 選択して[追加]→[セクション]をクリックします。

7.2 改ページを挿入する

レポート内に改ページを挿入することで、新しいセクションやアイテムを新 しいページに表示することができます。改ページは、レポート内の任意のポ イントに作成することができます。

改ページの挿入には、[追加]メニューと[挿入]メニューの2通りの方法 があります。[追加]を使う場合([追加]→[改ページ])、レポートの 最後に新しい改ページが追加されます。[挿入]メニューを使う場合([挿

入] → [改ページ])、[レポートコンテンツ] リストから選択されている アイテムの上に改ページが挿入されます。

この [挿入] と [追加] オプションは、レポート内の新しいオブジェクトす べてに適用します。

7.3 パラグラフを作成/編集する

Asset DB レポート内のパラグラフは、テキストのパラグラフまたは、セクション、サブセクションのタイトルと関連しています。 改ページ同様、パラグラフの追加には [追加] メニュー([追加] → [パラグラフ])と [挿入] メニュー([挿入] → [パラグラフ])の2通りの方法があります。

作成したパラグラフは、[レポート内容]リストから選択し、[編集]をク リックして、内容を変更することができます。既存のパラグラフも、同様の 方法で編集します。

編集する - アセスメント要約を印刷	
プロパティ プロジェクト データ ソース	内容のセクション
名前	プロパティーデータソース
アセスメント要約を印刷	
言語	//⋽ў⋽л ▼ テフォルト ▼ B I U _ ► Aa ▼ ₽
Japanese (Japan) 🔻	new section title
レポートタイトル	
アセスメント・レポートを印刷	
assetDB (システム)	
レポート内容	
ハフラファ ダイナミック表製造者モデルドシリアル No.けラー 📥 🔺	
パラクラフ ダイナミック表:製造者Iモデルドシリアル No.lトーム	
メリンシジンの 変通者 モノ ルレクアル NOTF-5	
タイナミック表:製造者:モテルドシリアル No.けつ~ パラグラフ	
印刷機器全体を見るとカラーページの運用費(
以下のチャートに見られるとおり、印刷コストは話	
チャート図6.部門ことのコスト要約 クロス・タブ:トータル年間ランニングコスト	
パラグラフ	
印刷環境のCO2排出量の合計は年間Xkgで	
CO2排出	
全ての機器に分散されている年間CO2排出量 チャート図7. ソースごとのCO2排出	
全体の年間CO2排出量は以下のチャードに示	
機器のタイプの年間環境データは以下の表に	
パラグラフ クロス・タブ:CO2排出 雷力消費 消費した木材	
パラグラフ	
パラグラフ	
ダイナミック表:製造者にデルドシリアル No.1年間 フロアブラン:フロアブラン	
new section	
1/52027	
前除 挿入する 追加	保存 キャンセル
	OK キャンセル

図 18. パラグラフを作成する

テキストの作成と編集は、[編集]ウィンドウのボックスで行います。

テキストは、自動的にパラグラフスタイルで表示されます。テキストの表示 を変更するには、まず変更したいセクションをハイライトします。次に、ウ

ィンドウ上部のボタンを使い、ドロップダウンから既定のスタイルを選択す るか、個別のオプションから変更を入力します。

変更の追加を終了したら、[保存] ボタンをクリックして内容を保存します。 同時に内容がプレビュー表示されます。[レポートコンテンツ]のパラグラ フ名のアップデートが実行され、パラグラフの最初の行がリストに表示され ます。

7.3.1 プロジェクトアセットのパラグラフを作成する

プロジェクトアセットのパラグラフはテキストで構成されますが、プロジェ クトの現状内のデータに基づくパラメータを挿入することができます。この 機能を使い、パラグラフ内に動的数値を挿入することが可能になります。

通常のパラグラフ同様、プロジェクトアセットのパラグラフの追加には[追加]メニュー([追加]→[プロジェクトアセット]→[パラグラフ])と、 [挿入]メニュー([挿入]→[プロジェクトアセット]→[パラグラフ]) の2通りの方法があります。

パラグラフの作成を終了したら、[レポートコンテンツ]リストから選択し、 [編集]をクリックして変更を行います。プロジェクトアセットのパラグラ フ内のテキストの作成や変更は、通常のパラグラフと同様の方法で行います。

パラメータを加えてテキストを拡張するには、[パラメータの挿入] ボタン (♥)をクリックします。[パラメータ作成] ウィンドウから、セクション 7.5.1 に示す方法でパラメータを作成します。

各システムレポート内には、表示データに関するセクションやチャートのタ イトル、パラグラフなど、さまざまなテキストが含まれています。これはす べて[レポートの編集]ウィンドウで編集することができます。[レポート の管理]ウィンドウから、編集したいコピーレポートを選択し、[編集]を クリックします。

レポート内のテキストを編集するには、まず[レポートの編集]ウィンドウ のホームスクリーンにある[レポートの内容]リストからアイテムを選択し ます。[コンテンツのセクション]パネルには選択した部分のプレビューが 表示されます。

選択したセクションの編集を開始するには、[コンテンツのセクション]パ ネルの右下にある[編集]ボタンをクリックします。テキストが編集可能な 形式で画面に表示されます(図 19)。



**** 編集する - アセスメント要約を印刷	
プロパティ プロジェクト データ ソース	内容のセクション
名前	プロパティー・データソース
アセスメント要約を印刷	7#2/
言語	パラグラフ 🔻 デフォルト 💌 B I 以 🔄 - 🏘 - 🖟
Japanese (Japan) 💌	The results from the physical audit are listed in the main categories below and the full data can be viewed within a separate
レポートタイトル	Microsoft Excel spreadsheet.
アセスメント・レポートを印刷	
レポード様式	
assetDB (システム) 🔹	
レポート内容	
ダイナミアクタマモジル2117/101777/101707 -	
ダイナミック表:製造者にデルドシリアル No.Iトーク	
/ ハフリフノ ダイナミック表:製造者にデルドシリアル No.トーク	
パラグラフ ガイナシック主体の学者にデル シルフル No けうっ	
タイリミック教養道者にナルレッアル No.105- パラグラフ	
印刷機器全体を見るとカラーページの運用費(チャート図ら チリカロノカラーごとのコスト更約	
以下のチャートに見られるとおり、印刷コストはま	
チャート図6・部門ことのコスト要約 カロス・タブ・トータル年間ランニングコスト	
<u>//5/57</u>	
環境要約 	
印刷環境のCO2排出量の合計は年間Xkgで	
パラグラフ CO2推出	
全ての機器に分散されている年間CO2排出量	
チャード図7. ソースことのCO2排出 全体の年間CO2排出量は以下のチャートに示	
チャート図8. 機器タイプによるCO 2排出	
1版品のタイノの午間環境ナータは以下の表にう	
クロス・タブ・CO2排出「電力消費」消費した木材	
以下のテーブルに記載されたフリートにおけるト	
/ バラクラフ ダイナミック表・製造者任デルドルアル No.1年間	
707752.707752	
new section	
<u>N</u> 50555	
削除 挿入する 追加	保存 キャンセル
	OK キャンセル

図 19. レポート内のテキストを編集する

ここで、テキスト本文を希望の状態にアップデートすることができます。 [保存] ボタンをクリックすると、新しいテキストのプレビューが表示され ます。

[コンテンツのセクション]パネル内では、テキストのサイズと色の編集を することもできます。[編集]ボタンをクリックすると、テキストが編集可 能な形式で表示され、上部にはフォントのオプションが表示されます(図 19)。

既定の色やサイズなどは、 [レポートスタイル] ドロップダウンで選択した スタイルで決定します。フォントは [スタイル] で決定し、この段階で変更 することはできません。フォントの変更については、セクション8を参照の こと。

テキストの外観を変更するには、まずテキストを選択、ドロップダウンで定 義済みの見出しスタイルから選択するか、個別の編集オプションを使います。 太字、下線、イタリックのほか、テキストとハイライトの色を選択すること ができます。

[保存] ボタンをクリックして変更を保存すると、プレビュー画面が表示されます。

7.3.2 仮想アセットのパラグラフを作成する

プロジェクトのソリューションを作成した場合、仮想アセットに基づくパラ メータを含むパラグラフを作成することができます。

通常のパラグラフ同様、仮想アセットのパラグラフの作成には、[追加]メニュー([追加] \rightarrow [仮想アセット] \rightarrow [パラグラフ])と[挿入]メニュー([挿入] \rightarrow [仮想アセット] \rightarrow [パラグラフ])の2通りの方法があります。

パラグラフの内容は、セクション 7.3.1 で示した方法で作成し、 [保存] をク リックして保存します。

7.4 レポートテーブルを作成/編集する

レポートに表示できるテーブルには、次の3種類があります。標準テーブル は主にテキストから構成され、テキストには数値パラメータが含まれます。 ダイナミック表は、プロジェクトからのデータリストで構成されています。 クロス・タブテーブルは、複数のデータ計算を単一のフィールドに表示する テーブルです。

7.4.1 標準テーブルを編集する

標準テーブルの追加と挿入を行うには、[追加] → [テーブル] または [挿 入] → [テーブル] を選択します。新しいまたは既存のテーブルを [レポー トの内容] リストから選択し、[編集] ボタンをクリックして編集を開始し ます。

画面には、設定とテーブルが編集可能な形式で表示されます(図 20)。

**** 編集する - アセスメント要約を印刷	-		X
プロパティ プロジェクト データ ソース	内容のセクション		
名前	プロパティー データソース		
アセスメント要約を印刷			
言語	水平マージン 0 = %		
Japanese (Japan) 🔻			
- L#-H97H1	表サイズ		
アセスメント・レポートを印刷			
レポート様式			
assetDB (システム) 🔹			
- レポー H内容	<u>列</u> デフォルト • 0.50 • B	<i>I</i> <u>U</u> → Aa → 0	
ハフラフラー ダイナミック表:製造者にデルドシリアル No.Iトーター 🔺	Max	5.00	
パラクラフ ダイナミック表:製造者にデルドシリアル No.Iトー5	Min	2.50	
パラグラフ ダイナミック表・製造者にデルドシリアル No.けカラー	Average	3.25	
パラグラフ 「日間博楽器全体を見るとカラーパージの運用書/	This project	[device ratio]	
チャート図5.モノクロノカラーごとのコスト要約			
レストのチャート2見られるとおり、日本国コストは2 チャート図6.部門ごとのコスト要約			
クロス・タブ・トータル年間ランニングコスト			
環境要約 印刷環境のCO2排出量の会計は年間Xkgで			
CO2排出 全ての機器に分散されている年間CO2排出量			
チャート図7.ソースごとのCO2排出 今休の年間CO2排出身付してのチャートにつ			
チャート図8.機器タイプによるCO2排出			
機器のタイプの年間環境テータは以上の表に; パラグラフ			
クロス・タブ・CO 2排出 電力消費 消費した木材			
以下のテーブルに記載されたフリートにおけるト			
パラグラフ ダイナミック表・製造者IFデルドクリアル No.1年間			
707752707752			
new section パラグラフ			
削除 挿入する 追加			保存 キャンセル
			OK キャンセル

図 20. 標準テーブルの編集

まず最初にテーブルのレイアウトを設定します。テーブルは、他のテキスト やチャートと一緒に標準のページに埋め込むことができます。または[全ペ ージ]のチェックボックスを選択し、テーブルを全ページ表示することも可 能です。テーブルレイアウトの追加オプションとして、ページ両側の水平マ ージンの設定があります。0%(テーブルがページのマージンまで拡張)から 100%(テーブル内のテキストのサイズでテーブルの幅を決定する)の幅から、 設定値を指定します。

行や列などで表のサイズを変更するには、[表サイズ] セクションの数値を 変更します。追加した行はテーブルの下に、追加した列はテーブルの右側に 表示されます(図 21)。同様に、行を削除する場合も右から、列を削除する 場合は下から実行されます。

	追加する行と列の数	
テーブル <u> </u> 列 <u> </u> デフォルト▼	0.50 ▼ B I <u>U</u>	🗌 • Aa • 🖯
 下に追加した行と右 に追加した列 	5.00	>
Average	3.25	
This project	[device ratio]	

図 21. 既存のテーブルに行と列を追加する

テーブル構成の編集を終了すると、テーブル内にテキストを追加することが できます。希望のセルを選択して、テキストを入力します。セルの行の高さ は、入力したテキストの文字数に従い自動的に調整されます。入力を終了し たら、プレビュー画面上部のボタンを使い、スタイルをカスタマイズするこ とができます。

テーブルの変更を終了したら、[保存]ボタンをクリックすると、プレビュ 一画面が表示されます。

7.5 プロジェクトアセットテーブルを作成する

前項で説明した標準テーブルのほかに、プロジェクトアセットテーブルには 3種類の付属タイプがあります。標準プロジェクトアセットテーブル、プロ ジェクトアセットダイナミック表、プロジェクトアセットクロスタブテーブ ルは、いずれもレポートに追加・挿入することができます。

7.5.1 標準プロジェクトアセットテーブルにパラメータを追加する

標準テーブルには、通常のテキストのほかに、プロジェクト内のデータに基 づく単一のパラメータを追加することもできます。プリントアセスメントサ マリーレポート(図 20)で示すように、テーブルは最大/最小/平均値、ユー ザー/機器比率を表示するテキストセルから構成されています。この値は、す べてのレポートで静的数値になります。さらに、プロジェクト内のユーザー/ 機器の実際の比率を示すパラメータがあります。

標準プロジェクトアセットテーブルをレポートに追加または挿入するには、 [追加] → [プロジェクトアセット] → [テーブル] → [テーブル] または [挿入] → [プロジェクト] [アセット] → [テーブル] → [テーブル] を選択します。テーブルを編集するには、リストからレポートを選択し[編 集]をクリックします。

パラメータをセルに挿入するには、セルを選択し [パラメータの挿入] ボタン([●])をクリックします。 [パラメータの作成] ウィンドウが開きます(図 22)。

… パラメータを作成する	
名前	
 計算	
·	
カウント	▼(フロシ ▼)
	OK キャンセル

図 22. [パラメータの作成] ウィンドウ

パラメータを作成するには、まずパラメータ名を指定します。パラメータ名 は、選択したセルのパラメータのカッコ内に表示されます。図 20 で「機器比 率 device ratio」とある部分です。

次に、作成するパラメータのタイプを指定します。オプションには次の 3 種類があります。

7.5.2 計算

計算では、次の演算に基づく単一値を算出します。

カウント: データフィールド上の数値(例. フィニッシャを含む総機器数)
機種別のカウント: データフィールド上の機種別カウント数値(例. 特定モデル総数)
合計: 数値フィールド上の数値の合計
平均: 数値フィールド上の数値の平均
最低値: 数値フィールド上の最低数値
最高値: 数値フィールド上の最高数値
標準偏差値: データの分布
差異: 数値フィールド上の最低値と最高値の差異
第一: 最初のアセット番号など、テキスト数値のリストの最初にある アイテム 計算をドロップダウンから選択したら、データフィールドドロップダウンで その計算と関連するフィールドを決定します。一部の計算には選択するフィ ールドに制限があるものもあります。カウント、機種別カウント、第一番目 はどのフィールドにも適用できますが、そのほかのアイテムは数値フィール ドにしか適用することができません。

計算パラメータを使用するのは、例えばプリントフリート内の異なったモデ ルの総数を表示する時です。そのためには「異なるモデル」の名前を付け、 [機種別のカウント数]を計算に選択し、フィールドドロップダウンから [モデル]を選択します。テーブルには、フリートのモデル数が単一値とし て表示されます。

7.5.3 パーセンテージ

パーセンテージパラメータでは、計算値のパーセンテージ表示ができます。 この機能は、総数に対するカラーの割合を表示する時などに使います。

パーセンテージの計算は、総数とそれに対する別の値の 2 つの数値を入力します。それぞれの数値は、上記で示した方法で作成します。

パラメータを作成する	and the second s	×
-名前 -タイプ	1の値は、2の値のパーセ ンテージで表示	
パーセンテージ 計算 4		•
カウント) / איללל	· (フロジ ▼) : キャンセル

図 23. パーセンテージパラメータを作成する

7.5.4 比率

比率パラメータは、パーセンテージパラメータとほぼ同様の方法で計算しま す。2つの計算値が必要になりますが、最終値は:を使って比率で表示され ます。この数値は上記と同様の方法で計算します。

比率パラメータは、MDF と比較したプリンタ比率や、上記で説明したユーザー対機種の比率を計算する時に使います。

この3つの計算では、標準フィールドと同様、[コンテンツ]ウィンドウの [セクション]にある[データソース]タブで、カスタムフィールドを作成 Report Editor ユーザーマニュアル

することができます。カスタムフィールドの作成方法については、セクション 6.1 を参照のこと。

7.5.5 ダイナミック表を作成する

Asset DB

上記で説明した通り、ダイナミック表はプロジェクトのデータのリストで構成されています。作成したリストは特定の数値に限定され、例えば上位10または下位5などを表示することができます。

プロジェクトアセットダイナミック表を追加または挿入するには、[追加] → [プロジェクトアセット] → [テーブル] → [ダイナミック表] または [挿入] → [プロジェクト] [アセット] → [テーブル] → [ダイナミッ ク表] を選択します。テーブルを編集するには、リストからレポートを選択 して、[編集] をクリックします。テーブルの特性が編集可能な形式で表示 されます(図 24)。

•••• 編集する - アセスメント要約を印刷		3
プロパティー プロジェクト データ ソース	内容のセクション	
名前	プロパティーデータソース	
アセスメント要約を印刷	ирон	
言語		
Japanese (Japan) 🔻	□ 全ページ	
レポートタイトル	\$151	
アセスメント・レポートを印刷	新しいタイナミック表	20
レポート様式	<u><u></u>31</u>	
assetDB (システム) 🔹	77-ルド カスタマイズされたへ」重量	
レポード内容 ア・ドウ容 ア・ドウ容 ア・ドウ容 ア・ドウ容 ア・ドウ容 ア・ドウ容 マート短ち、モンクロント要約 マート短ち、モンクロント要約 シロートで見られるとから、日間口ンには ア・トレラの、とかう、この辺目、要約 メローション・ドし多れるとから、日間口ンには デャート短ち、お門にとのコント要約 フロ・ゲクトーシルを用意した。 ア・トレラの、と同じ、日間口、とは ア・トレラの、日間口、という、日間口、という、 ア・トレラの、日間口、という、日間口、という、 ア・トレラの、日間口、という、日間口、という、 ア・トレラの、日間口、という、ア・レート ア・トレラの、日間口、という、ア・レート ア・トレラの、日間口、という、ア・レート ア・トレラの、日間口、という、ア・レート ア・トレラの、日間口、という、ア・レート ア・トレラの、日間口、シート、 ア・トレラの、オート、ア・レート ア・トレラの、日間口、シート、 ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・レート、ア・レート ア・ア・レート ア・レ		
機器のタイプの年間環境データは以下の表に; パラグラフ	育场余	
クロス・タブ:CO2排出 電力消費 消費した木材 パラガラフ	ブループ化	31
以下のテーブルに記載されたフリートにおけるト	🗆 ロケーションによるグループ化	
ハンワフノ ダイオミック表製造者ドデルドリアル No J年間 フロアブシンフロアブシン per section バラジラフ パラジラフ ダイオミック表新しい ダイオミック表	▲	
テーブル・0H3VAOEFW0024BEEB4B91 テーブル・0H3VAT5G70024BEEB4B91 テーブル・0H3VAT5G70024BEEB4B91	atêć şêja	
肖明余 挿入する 追加	保存 キャンセル	
	OK キャンセル	

図 24. ダイナミック表を編集する

テーブルのレイアウトは、セクション 7.4.1 で説明した標準テーブルと同様で す。ダイナミック表のタイトルは、完成したレポートのテーブル上部にその まま表示されます。

上記手順で内容を決定すると、テーブルのコラムが [コラム] パネルに表示 されます。コラムは、フィールドコラムの空白のセルをダブルクリックして

追加します。そこでプロジェクトの[アイコンのカスタマイズ]からディス プレイしたいデータフィールドを選択します。

次に、新しいコラムに見出しを指定します。空白のセルの場合、見出しはフ ィールド名と同一になります。見出しを指定するには、関連するセルをダブ ルクリックして、希望の見出しを入力します。

最後に重量を決定します。重量では、テーブルに表示するコラムの幅を決定 します(0から1の比率)。セルをダブルクリックし、必要な数値を入力して 設定することもできます。

ダイナミック表の [プロパティ] タブで最後に編集するのが、グループ化で す。位置のボックスでグループを選択し、位置ごとにテーブルの結果をまと めます。他のフィールドでグループ化するときは(例.モデル)、[追加] ボタンをクリックして、[アイコンのカスタマイズ]から希望のフィールド を選択します。

7.5.6 ダイナミック表データソースを編集する

標準データフィールドに加え、テーブルには既存のフィールドを使ったカス タムフィールドを追加することもできます。カスタムフィールドは、[デー タソース]タブから作成します(図 25)。カスタムフィールドの作成に関す る詳細については、セクション 6.1 を参照のこと。

[データソース]タブでは、ソート順を作成することもできます。テーブルのソート順で現在のフィールドを表示します。ソート順はセクション 6.2 に説明した方法で変更します。



•••• 編集する - アセスメント要約を印刷	
プロパティー プロジェクト データ ソース 名前 アセフィント更約本印刷	内容のセクション プロパティーデータソース カンタマイプズルたってールド
言語 Japanese (Japan) ▼	
レポートタイトル アセスメント・レポートを印刷	
レポート様式 assetDB (システム)	
レポード内容 アオリ シジズマを発見者にフルビジンアルドロボーシッ パッグラン なくガラン たりのラン にの新課業会はを見るとカラーページの運用費 サートに見られるとおり、日期口入はま サートに見られるとおり、日期口入はま サートに見られるとおり、日期口入はま サートに見られるとおり、日期口入はま サートに見られるとおり、日期口入はま サートに見られるとおり、日期口入はま サートに見られるとおり、日期口入はま サートに見られるとおり、日期口入はま サートにのした。 にの解決したのシングコント にのが、レークルキャードの での必要的にのの なり、シンプントークルキャードの でのの変形についる年間にの24批出費 サートにの、シンプンのの24批出 サートにの、シンプンの24批出 サートにの、シンプンの24批出 サートにの、シンプンの24批量 サートにの、シンプンの24批出 サートにの、シンプンの24批出 サートにの、シンプンの24批出 オートにの、シンプンの24批出 オートにの、シンプンの24批出 オートにの、シンプンの24批量	Alle 通数 通数 ソート年順 アイールド 方向 場所 上昇
チャート図82、株器タイプによるCO2排出 株器のタイプの年間環境データは以下の表に3 /15/757 クロス・ダイCO2排出「電力消費に消費した木材 /15/757 以下のテーブルに記載されたフリードにおけるト /15/757 ダイオネック表型造者ドモデルドジリアル No.1年間 20アプラン・20アプラン Pew section	周辺家 限度 10 条件
パンタンフ パンラクラン ダイブを3かり表新しい、ダイナミック表 テーブルのH3VAOEFW0024BEEB4B91 テーブルのH3VATKH0024BEEB4B91 マーブルのH3VATKH0024BEEB4B91 ▼ 前応衆 挿入する 追加	編集 (保存 キャンセル
	 OK キャンセル

図 25. ダイナミック表を編集する- [データソース] タブ

プロジェクト内のデータのフィルタ条件は、レポートに表示する前に、設定 することができます。条件の設定については、セクション**6**を参照のこと。

[データソース]タブで最後に設定するのは、限度です。レポートに表示する結果の数を指定するもので、例えば上位 10 などです。フィールドに必要な数値を入力して、制限を設定します。

変更を終了したら[保存]ボタンをクリックすると、変更が保存されプレビ ユー画面が表示されます。

7.5.7 クロス・タブテーブルの作成

クロス・タブテーブルでは、単一のフィールドに複数の情報を表示すること ができます。例えば、機器のメーカーごとにそれぞれのモデル数を表示した り、カラーやモノクロの機器数を表示することができます。標準テーブルや ダイナミック表と比較すると、クロス・タブテーブルにはより多くの情報を 表示することができることになります。

プロジェクトアセットクロスタブテーブルを作成するには、[追加] → [プ ロジェクト] [アセット] → [テーブル] → [クロス・タブ] または [挿 入] → [プロジェクト] [アセット] → [テーブル] → [クロス・タブ]

Asset DB v4.4

Report Editor ユーザーマニュアル

を選択します。リストからレポートを選択し、[編集]をクリックして、テ ーブルを編集します。テーブルの特性が編集可能な形式で表示されます(図 26)。

編集する - アセスメント要約を印刷								
プロパティー プロジェクト データ ソース	「内容のセクション	y						
名前	プロパティ	プロパティーデータソース						
アセスメント要約を印刷	レイアウトー	לאין אריקא						
言語	水平マージン	水平マージン 0						
Japanese (Japan) 🔻	□ 全ページ	□ ±ペ-ジ						
レポートタイトル	\$15u	81hi						
アセスメント・レポートを印刷	新しい クロス・	新しい クロス・タブ						
レポート様式	によるグループ	ИL						
assetDB (システム) 🔹	アセット番号							
	計算 コラムー							
ダイナミックス 設定者 モナフルワケアフル NO.17.17	コラム名	フィールド	計算	<u>重</u> 量				
印刷機器全体を見るとカラーページの運用費(1)					1			
チャート図5.モノクロノカラーごとのコスト要約								
チャート図6.部門ごとのコスト要約								
クロス・タフ・トータル年間ランニングコスト								
環境要約								
環境要約								
日崎境境のGU2排出量の合計は年間Xkgで パラグラフ								
CO2排出								
全ての機器に分散されている中間CO2排出車 チャート図7、ソースごとのCO2排出					晋川居全			
全体の年間CO2排出量は以下のチャートに示					Aver 1			
チャード図8・機器ダイノによるCO2排出 機器のタイプの年間環境データは以下の表に;	コラムを数える	ò						
	コラム名	条件		重量				
クロス・ダブンUO2排出(電力);自費()自費()に不朽! パラグラフ					10			
以下のテーブルに記載されたフリートにおけるト								
パラクラフ ダイナミック表:製造者Iモデルドノリアル No.1年間								
707752707752								
new section								
//5/5/ //5/57								
ダイナミック表:新しい ダイナミック表								
テーブル:0H3VAT5G70024BEEB4B91								
テーブル0H3VATKHB0024BEEB4B91					買用金			
クロス・タブ・新しい クロス・タブ					1. Part II.			
削除 挿入する 追加					(保存 をかった))			
					1717 43720			
					OK キャンセル			

図 26. クロス・タブテーブルを編集する

テーブルのレイアウトは、セクション 7.4.1 で説明した標準テーブルと同様で す。クロス・タブテーブルのタイトルは、完成したレポートでテーブル上部 にそのまま表示されます。

次に、カスタムフィールド、フィルタ条件、テーブルの限度など、プロジェ クトのデータソースを設定します。方法については、セクション6を参照の こと。

データソースが決定すると、テーブルのコラムを作成する準備が整ったこと になります。最初に作成するのは、左側のタイトル列です。各値につき新し い行が作成され、列には情報が表示されます。上記の例では、タイトル列が プロジェクト内の各メーカー名ごとに新しい行を作成し、セルにはメーカー 名が表示されています。これは、ドロップダウンでグループを使って作成し ます。

コラムのタイプには次の2つがあります。

7.5.8 計算式コラム

[計算式コラム]には、次の計算に基づくテーブルの各行と関連する数値を表示します。

カウント: データフィールド上の数値(例.フィニッシャを含む総機器数)
機種別のカウント数: データフィールド上の機種別数値(例.特定モデル総数)
合計: 数値フィールド上の数値の合計
平均: 数値フィールド上の数値の平均
最低値: 数値フィールド上の最低値
最高値: 数値フィールド上の最高値

標準偏差値: データの分布

差異: 数値フィールド上の最低値と最高値の偏差

第一:最初のアセット数など、テキスト値のリストの最初にあるアイ テム

列を編集するには、[コラム名]の列から関連する行をダブルクリックします。 上部のタイトル行に表示される名前は、ここで修正します。次に、計算が基 づくデータフィールドを修正します。セルをダブルクリックして、ポップア ップウィンドウから関連するフィールドを選択します。

次に、横の列からドロップダウンで計算を選択します。前述の通り、特定の 計算には選択できるフィールドに制限があります。カウント、機種別のカウ ント数、第一はどのフィールドにも適用できますが、そのほかは数値フィー ルドにしか適用できません。

[計算カウント]で最後に選択するのが、列の重量です。0から1の数値で、列の幅を決定します。セルをダブルクリックして、新しい数値を入力して変更します。

7.5.9 カウント・コラム

二つ目コラムは、定義された条件に基づき、それぞれの行の機器全ての数を 計算します。

[カウント・コラム]の編集には、まず名前の修正があります。[コラム名]の列 から関連する行をダブルクリックして、タイトル行に表示される名前を変更 します。[計算式コラム]に関しては、これによりタイトル行に表示される名 前が変更します。 次に計算が基づく条件を設定します。条件列の関連するセルをダブルクリックして、セクション6で説明する指示に従います。

最後に、「カウント・コラム]の重量を変更します。セルをダブルクリックして、0から1の新しい数値を入力します。

クロス・タブテーブルの設定を全て終了したら、[保存]ボタンをクリック して内容を保存します。保存が終了すると、プレビュー画面が表示されます。

7.6 仮想アセットテーブルを作成する

これまで説明したプロジェクトアセットテーブルに加え、各 3 タイプのテー ブルを、プロジェクトのソリューションからのデータに組み入れて、仮想ア セットテーブルを作成することもできます。

ヘッダーのメニューから[レポート]をクリックして、[デザイン]に行く。次に [管理する]を選んで、その中の対象のレポートを選び[新しい]をクリックする。

ポップアップ画面がでたら、左下の [追加] → [仮想アセット] → [テーブ ル] → [テーブル] / [ダイナミック表] / [クロスタブ] の中からいずれ かを選びます。次のステップとして [挿入] /[追加]/[削除]→ [仮想アセッ ト] → [テーブル] → [テーブル] / [ダイナミック表] / [クロスタブ] で、レポートに追加、挿入、削除することができます。

作成したテーブルを [レポートの内容] リストから選択し、 [編集] ボタン をクリックして編集を開始します。テーブルの作成方法は、セクション 7.5 を 参照のこと。

7.7 レポートアセットチャートの作成/編集

Asset DB レポートでは、パイチャート、シリーズパイチャート、バー(棒グ ラフ)の3 種類のチャートを作成することができます。チャートには、ユー ザが設定した内容でプロジェクトデータの表示をすることができます。

7.7.1 パイチャートを作成する

Asset DB レポートのパイチャートは標準のパイチャートで、データフィール ドの総数に対する比率を円の中に扇形に分割して表示します。

レポートにパイチャートを追加、挿入するには、 [追加] → [プロジェクト アセット] → [チャート] → [パイ] または [挿入] → [プロジェクトアセ ット] → [チャート] → [パイ] を選択します。

Asset DB v4.4

作成したチャートを [レポートの内容] リストから選択、 [編集] ボタンを クリックして編集を開始します。

まず、レイアウトやタイトルなどの形態を、を編集します。

レイアウトパネルでは、ページ上でのチャート両側の平行マージンを設定します。0%に設定するとテーブルをページの余白ぎりぎりまで拡張することができ、最大値 95%ではとても細長い表になります。フィールドの横にある矢印で、パーセンテージを調整します。

チャートのみのページを作成する場合、[全ページ]をチェックします。

チャートのタイトルを編集するには、タイトルフィールドに新しいタイトル を入力します。

🚥 編集する - アセスメント要約を印刷	
プロパティ プロジェクト データ ソース	内容のセグション
名前	プロパティーデータソース
アセスメント要約を印刷	レイアウト
言語	水平マージン 20]==m
Japanese (Japan) 🔻	
レポートタイトル	94Nu
アセスメント・レポートを印刷	斯ር/ //1 ቻ ቀ~ト
レポード様式	5/5/1/077
assetDB (システム) 🛛 🗸	~と値によるグループ 🗸
レポート内容	によるグループ化
日柳州太谷主1年を元金とルノーハーノの連用耳(チャート図5、モノカロノカラーごとのコスト要約	アセット番号
以下のチャートに見られるとおり、印刷コストは話	計算
チャート図は、部門しとのコスト要約 クロス・タブトータル年間ランニングコスト	ガント マ (アイデンティティー マ …)
パラグラフ	
印刷環境のCO2排出量の合計は年間Xkgで	
ハラクラク CO2排出	
全ての機器に分散されている年間CO2排出量 チャート図7、ソーフごとのCO2排出	
全体の年間CO2排出量は以下のチャーHC示	
チャート図8。 機器タイプによるCO 2排出 機器のタイプの年間環境データは以下の表に:	
ジロス・ダブもし 27年出1年ノリ、月登1、月登して木村、 パラグラフ	
以下のテーブルに記載されたフリートにおけるト	
メンシンシン ダイナミック表・製造者モデルドシリアル No.1年間	
<u> 107プラン:フロアプラン 1000000000000000000000000000000000000</u>	
1/50/57	
パラグラフ ガイナミック表紙して、ガイナミック表	
テーブル 0H3VAOEFW0024BEEB4B91	
テーブル・0H3VAT5G70024BEEB4B91 テーブル・0H3VATKHB0024BEEB4B91	
テーブル:0H3VAVRRZ0024BEEB4B91	
クロス・タノ第10、1 クロス・タノ パラグラフ	
チャート新しいパイチャート	
前1除 挿入する 追加	保存 キャンセル
	OK ++>+211

図 27. パイチャートを編集する

データ編集の前に決定する最後のパイチャートの形態は、ラベルのフォーマットです。[ラベルのフォーマット]ドロップダウンには、次の5つのオプションがあります。

グループ: データグループのタイトル(例.アセットタイプのプリンタ /MFD/Fax)



値: データグループの数値(例. フィールドのカウント値または合計) パーセンテージ: 合計における各セクションのパーセンテージ グループと値: タイトルとデータグループの数値 グループとパーセンテージ: タイトルとデータグループのパーセンテー ジ

チャートのラベルのフォーマットは、ドロップダウンリストのオプションから選択して変更します。

次に編集するのが、チャートのデータをグループ化する[アイコンのカスタ マイズ]のデータフィールドです。これは[グループ]ドロップダウンから 選択します。このフィールドのタイトルは、[グループ]オプションを選択 した時にチャートラベルに表示されます。

最後に、各グループと関連する[値]または[パーセンテージ]を決定する計算式 を設定します。[計算]では次の機能の一つに基づいた単一数値を作成します。

カウント:データフィールド上の数値(例.フィニッシャを含む総機器数)
機種別のカウント数:データフィールド上の機種別数値(例.特定モデル総数)
合計:数値フィールド上の数値の合計
平均値:数値フィールド上の数値の平均
最低値:数値フィールド上の最低値
最高値:数値フィールド上の最高値
標準偏差値:データの分布
差異:数値フィールド上のの最低値と最高値の差異
第一:最初のアセット数など、テキスト値のリストの最初にあるアイテム

ドロップダウンから計算式を選択すると、データフィールドドロップダウン のデータを使い、計算式が関連するフィールドを決定することができます。 計算式の中には選択可能なフィールドに制限があることがあります。**カウン** ト、機種別のカウント数、第一はどのフィールドにも適用できますが、それ 以外は数値フィールドにしか適用することができません。

計算値は全て、最終レポートのパイチャートに反映されます。

上記のパイチャートの修正以外にも、データのフィルタやカスタムフィール ドの作成など、データソースの編集も可能です。この方法については、セク ション7.5.6 を参照のこと。

7.7.2 連続パイチャート(円グラフ)を編集する

Asset DB レポートの連続パイチャートでは、1つのパイチャートのそれぞれの 扇形に複数の情報を表示することができます。プリントアセスメントサマリ ーレポートでの例を挙げると、モノクロ/カラーによるコスト概要などです。 モノクロコストとカラーコストの二つの異なるフィールドを、同一のパイチ ャートに異なる扇形として表示することができます。

レポートにパイチャートを追加、挿入するには、 [追加] \rightarrow [プロジェクト アセット] \rightarrow [チャート] \rightarrow [シリーズパイ] または [挿入] \rightarrow [プロジェ クトアセット] \rightarrow [チャート] \rightarrow [シリーズパイ] を選択します。

連続パイチャートを編集するには [レポートの内容] リストから選択、 [編集] ボタンをクリックします。最初に編集するのは、レイアウトやキャプションなどの形態です。編集の方法は、セクション 7.7.1 のパイチャートと同様です。棒グラフのキャプションは表の下に表示されますが、パイチャートのタイトルと同様に編集します。

編集する - アセスメント要約を印刷	
プロパティ プロジェクト データ ソース	内容のセクション
名前	プロパティー データソース
アセスメント要約を印刷	עלאסא
言語	水平マージン 20 = x
Japanese (Japan) 💌	□ ±ページ
レポートタイトル	<i>TvTvzyy</i>
アセスメント・レポートを印刷	新しいパイチャート
レポート様式	ラベルのフォーマット
assetDB (システム) 🔹	~と値によるグループ ▼
	断片
は下のキャーに見られるための「日本の」」 し下のキャーに見られるための「日本の」人は注 し下のキャーに見られるための「日本の」人は注 「マカス・ダナートの」を相当ショングラスト 「マカフ、ヴナートの」を相当ショングラスト 「マカフ、ヴナートの」を相当ショングラスト 「マカララフ 「マカ夏歌介」 「マカララン この 3井出 全ての確認に分散されている年間の2井出量 チャート図フ、ソースと2000 排出 チャート図フ、ソースと2000 排出 チャート図の「非出量な」」「の多い」 なしの確認に分散されている年間の2井出量 チャート図の「非出量な」」「の多い」 ないの確認に分散されている年間の2井出量 チャート図の「非出量な」」「の多い」 「マカックテーブ」に記載されている年間の2井出量 チャート図の「非出量な」」「の多い」 「マカックテーブ」に記載されている年間の2井出量 チャート図の「非出量な」」「の多い」 「マカックテーブ」に記載されている年間の2 「マカックテーブ」に記載されている。 「マカック」の日本の 「マカック」の 「マカック」の日本の 「マカック」の日本の 「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「「マカック」の 「「マカック」の 「「マカック」の 「「「マカック」の 「「「マカック」」の 「「「「」」」の 「「」」の 「」」の 「」の 「」」の 「」の 「	
	OK キャンセル

図28. 連続パイチャートを編集する

データ編集の前に決定するシリーズパイの形態は、ラベル形式です。セクション7.7.1の標準パイチャートと同様の方法で行います。

最後に、扇形の内容の修正をします。扇形の各部分には[アイコンのカスタ マイズ]からのデータフィールドと以下の計算が含まれます。

カウント:データフィールド上の数値(例.フィニッシャを含む総機器数)
機種別のカウント数:データフィールド上の機器別数値(例.特定モデル総数)
合計:数値フィールド上の数値の合計
平均値:数値フィールド上の数値の平均値
最低値:数値フィールド上の最低値
最高値:数値フィールド上の最高値
標準偏差値:データの分布
差異:数値フィールド上の最低値と最高値の偏差
第一:最初のアセット数など、テキスト値のリストの最初にあるアイテム

標準パイチャートと同様に、特定の計算式には選択可能なフィールドに制限 があります。**カウント**、機種別のカウント数、第一はどのフィールドにも適 用可能ですが、その他は数値フィールドにしか適用できません。

まず、[フィールド] コラムから関連するセルをダブルクリックして扇形に 必要なフィールドを選択します。それから、プロジェクトの[アイコンのカ スタマイズ]から希望のフィールドを選択します。それから[計算] コラム のドロップダウンを使い、扇形の数値を決定するのに必要な計算を選択しま す。

上記の修正に加え、データのフィルタやカスタムフィールドの作成など、表のデータソースの編集も可能です。この方法は、セクション 7.5.6 で説明してあります。

変更を終了したら、[保存] ボタンをクリックすると、プレビュー画面が表示されます。

7.7.3 バー(棒グラフ)を編集する

Asset DB レポートのバー(棒グラフ)は標準棒グラフで、データフィールドのそれぞれの結果を横軸に沿った棒であらわしたもので、高さで数値を表します。

レポートに棒グラフを追加、挿入するには、 [追加] \rightarrow [プロジェクトアセ ット] \rightarrow [チャート] \rightarrow [バー] または [挿入] \rightarrow [プロジェクトアセット] \rightarrow [チャート] \rightarrow [バー] を選択します。

最初に編集するのが、レイアウトやキャプションなど、バー(棒グラフ)の 形態です。編集方法は、セクション 7.7.1 のパイチャートと同様です。バー

Asset DB v4.4

(棒グラフ)のキャプションは、グラフの下に表示されますが、パイチャート(円グラフ)のタイトルと同様に編集します。

編集する - アセスメント要約を印刷	
プロパティー プロジェクト データ ソース 名前	内容のセクション
アヤスポント要約を印刷	
言語	水平マージン 20 - **
Japanese (Japan)	□ ±ペ-ÿ
レポートタイトル	- キャプション
アセスメント・レポートを印刷	新しい「チャート
レポード様式	カデゴリー
assetDB (システム) マニー	<u>Ptv}i番号 ▼</u>
1.ポート内容	シリーズ
レイドリアヤードにたられるとの人 日本明山人ドはま	●計算 ○ 表現
クロス・タブ・トータル年間ランニングコスト	27~ルド 計算
パラグラフ 環接面約	
環境要約	•
印刷環境のCO2排出量の合計は年間Xkgで	
CO2排出	
全ての機器に分散されている年間CO2排出量 チャート図7 ソースごとのCO2排出	
全体の年間CO2排出量は以下のチャートに示	
チャート1218。 機器タイフによるCO2排出 機器のタイプの年間環境データは以下の表に;	
パラグラフ	
ジロス・ダブシン 2排出1単71月登1月登した木村: パラグラフ	
以下のテーブルに記載されたフリードにおけるト	
ハノッファ ダイナミック表:製造者!モデルドシリアル No.!年間	
パラグラフ	
パラグラフ ガイナミッカま 毎日()、ガイナミッカま	
テーブル:0H3VAO EFW0024BEEB4B91	
テーブル・0H3VAT5G70024BEEB4B91 テーブル・0H3VATKHB0024BEEB4B91	
テーブル・0H3VAVRRZ0024BEEB4B91	
クロス・タブ:新しい クロス・タブ パラグラフ	
チャート新しいパイチャート	
チャート新しいパイチャート ダイン	自以法
削除 挿入する 追加	保存 キャンセル
	OK キャンセル

図 29. 棒グラフを編集する

次にグラフの X 軸の編集をします。 [アイコンのカスタマイズ] からのデー タフィールドで、これをもとにグラフのデータがグルーピングされます。選 択には、 [カテゴリ] ドロップダウンを使います。

最後にシリーズの修正をします。ここでは、グラフに使われる棒の数やサイ ズを決定するデータを編集します。シリーズには、計算式と数式の二つのタ イプがあります。複数のシリーズを作成することも可能ですが、それぞれ同 タイプでなくてはなりません。シリーズのタイプの編集は次の手順で行いま す。

7.7.4 計算

計算シリーズは、次の操作でグループごとに単一値を作成します。

カウント: データフィールド上の数値(例.フィニッシャを含む総機器数)

機種別のカウント数: データフィールド上の機種別数値(例. 特定モデル総数)

合計:数値フィールド上の数値の合計
平均値:数値フィールド上の数値の平均値
最低値:数値フィールド上の最低値
最高値:数値フィールド上にある最高値
標準偏差値:データの分布
差異:数値フィールド上の最低値と最高値の差異
第一:最初のアセット数など、テキスト値のリストの最初にあるアイテム

既存の計算シリーズを編集または新しいシリーズを追加するには、[フィー ルド] コラムのセルをダブルクリックします。計算と関連する新しいフィー ルドが開き、上のリストのタイプがドロップダウンに表示されるので、そこ から必要な計算タイプを選択します。特定の計算には、選択可能なフィール ドに制限があります。カウント、機種別カウント、第一はどのフィールドで も適用可能ですが、その他は数値フィールドでしか適用できません。

7.7.5 数式

数式シリーズは、プロジェクト内のデータにさらにフィルタをかけて、棒を 作成する時に使います。これによって棒グラフにカスタマイズされたフィー ルドを作成することができます。

まず最初にコラム名を編集します。[コラム名] コラムで関連するセルをダ ブルクリックすると、関連する基準や条件を作成できるようになります。方 法については、セクション6を参照のこと。

上記の修正のほかにデータのフィルタやカスタムフィールドの作成など、デ ータソースの編集もすることができます。方法については、セクション 7.5.6 を参照のこと。

7.8 仮想アセットチャートの作成

上記のプロジェクトアセットチャートに加え、それぞれのチャートのタイプ を仮想アセットチャートとして、プロジェクトのソリューションのデータに 組み入れることができます。

仮想アセットチャートの追加には [追加] \rightarrow [仮想アセット] \rightarrow [チャート] \rightarrow [パイ/シリーズパイ/バー]、または [挿入] \rightarrow [仮想アセット] \rightarrow [チャ ート] \rightarrow [パイ/シリーズパイ/バー] を選択します。

作成したチャートは [レポートコンテンツ]から選択し、 [編集] ボタンを クリックして編集することができます。表の作成は、セクション 7.7 と同様の 方法で行います。

7.9 レポートの順序を変更する

レポートの順序を変更するには、メニューバーから [レポート] → [デザイン] → [管理する] を選択し、 [レポートの管理] ウィンドウを開きます。 リストから希望のレポートを選択し、 [編集] をクリックします。

[レポートの編集] ウィンドウが開き、[プロパティ] タブ(図 30) から、 レポートの構成に変更を加えます。



図 30. [プロジェクトの編集] ウィンドウー [プロパティ] タブ

[プロパティ]タブでは、[レポートの内容]パネルがハイライトされています(図 30)。選択したレポートのセクション全てが表示されますが、ここではプリントアセスメントサマリーレポートのコピーを例にしています。セクションとサブセクション名は太字黒線囲みで、そのセクション内のパラグラフ、チャート、テーブルが下に表示されています。

セクションはレポート内のほかのエリアに移動することができますが、サブ セクションはセクション内のみでしか移動できません。オブジェクト(画像、

- 40 -

Asset DB v4.4

パラグラフ、テーブル、チャート)は、そのセクションまたはサブセクショ ンの中でしか移動できません。

アイテムを移動するには、任意のアイテムを [レポートの内容] パネルから 選択します。オブジェクトの場合、レポート内での外見を示すプレビューが 表示されるので、右側の上下の矢印を使い、アイテムの新しいロケーション を決定します。(図 30)

[レポート内容] パネルではレポート内でオブジェクトを移動できるだけで はなく、セクションやオブジェクトを削除することができます。データのな い白紙のチャートの表示を避け、不要な画像やテキストを削除することがで きます。

レポートからセクションやオブジェクトを削除するには、リストの下にある [削除] ボタンをクリックします。

レポートの構成を終了したら、[レポートの編集]ウィンドウの右下にある [OK] ボタンをクリックすると内容が保存されます。

8 レポートデザインのエクスポート/インポート

編集または作成したレポート構成は、作成が行われた Asset DB からエキスポ ートして、他の Asset DB のユーザと共有することができます。これにより社 内の 1 人のユーザが構成を作成し、関連ライセンス(レポートの編集が可能 なライセンス)を持つほかのユーザが、[コピー]、[作成]のプロセスを 繰り返すことなく同じレポートを作成できるようになります。

レポートの構成をエクスポートするには、 [レポート] → [デザイン] → [エクスポート] をメニューバーから選択します。リストから希望のレポートを選択し、 [エクスポート] を選択すると、.rpt ファイルが生成されます。

レポートの構成をインポートするには、 [レポート] → [デザイン] → [イ ンポート] を選択し、保存された.rpt ファイルを読み込みます。このレポート はシステム内のどのプロジェクトでも実行することができます。